「教科指導の理論と課題」2017-３

担当　浅井和行

10時 「プレゼンテーションのあり方」６/23

　９回の授業の振り返り

　「話をするとはどういうことか」について検討する。

※ これまでの自分の授業展開について振り返っておくこと。

11時 「教育の情報化」「メディアの教育的意義」６/30

　「教育の情報化」で議論されている内容を検討し，本授業でとり上げる内容が「情報教育」「授業におけるICTの活用」「校務の情報化」の３本柱のうちの2つ目の柱であることを確認する。

　「メディア」の定義を行い，「メディアの教育的意義」についてまとめる。

※ 文科省のHPに，「教育の情報化」や「教育の情報化ビジョン」についての情報が掲載されているので，授業までにしっかり学んでおくこと。

12時 「ソーシャルメディア時代のICTを活用した授業」７/７

 　全国の「ICTを活用した授業」の事例を紹介し，どのように分類すればよいかを考える。また，受講生が今後行う授業を想定し，本授業で紹介された事例を自分の授業のアイデアとして利用できるように，授業中に整理しておくこと。

　体験を重視する生活科においても，ICTが力を発揮することについて事例を通して紹介する。

※「ICTを活用した授業」は年間を通してたくさん公開されているので，インターネット上で調べ，事前に授業を参観しておくことが望ましい。

13時「映像番組」7/14

　良質な「映像番組」を視聴することを通して，映像の持つ教育的意義を確かめる。

※これまで自分が受けてきた学校教育の中で，映像が果たしてきた役割について考えておくこと。

14時 「メディア・リテラシー教育」7/21＋FDアンケート

　「インターネットとスマートフォンから子どもをどう守るか」を題材として，メディアは制作者の意図によって構成されていることを知り，受け手としても送り手としても批判的思考を働かせるとともに，児童生徒にそのことをどのように伝えるかを考える。

※ 自分がメディアにだまされたことがあるかどうかを振り返っておくこと。

＜レポート＞

　Web上の課題「授業・セミナー構想案.doc」を７月中に浅井研究室のポストへ

○評価の方法（評価の配点比率と評価の要点）

 　授業ごとのコメントカードや事例研究・シミュレーション等の活動の様子，ショートレポート等によって総合的に評価する。